

若山牧水生誕 140 年記念 第 15 回牧水・短歌甲子園 《開催要項》

大会概要

1. 目的

郷土の歌人・若山牧水を顕彰するとともに、高校生の自己表現力の向上を図り、文化の振興に寄与する。

2. 開催期日

令和 7 年 8 月 9 日（土）、10 日（日）

3. 会場

日向市中央公民館
（宮崎県日向市中町 1 番 31 号）

4. 主催

日向市・日向市教育委員会・日向若山牧水顕彰会

5. 主管

牧水・短歌甲子園実行委員会

6. 協賛

ホテルベルフォート日向

7. 後援

宮崎県・宮崎県教育委員会・公益財団法人宮崎県観光協会・宮崎県高等学校文化連盟・宮崎日日新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・西日本新聞社・夕刊デイリー新聞社・NHK 宮崎放送局・MR T 宮崎放送・UMK テレビ宮崎・エフエム宮崎・ケーブルメディアワイワイ・FM ひゅうが・角川『短歌』・全国牧水顕彰会

8. 協力

牧水・短歌甲子園 O B O G 会みなと

参加要件

1. 対象

- （1）全国の高等学校に在学する高校生を対象とします。

2. チーム編成

- （1）1 チームの選手は、原則、同一高等学校の生徒 3 人とします。

ただし、生徒数が少なく、単独校でのチーム編成が困難な事情が認められる場合は、合同チームでの申込を認めます。この場合、合同チーム大会応募申請書を出場申込書等と併せ提出してください。

- （2）本選に出場できるのは、1 校あたり 1 チームとし、引率者（教員又は学校の許可を得た保護者）1 人が引率可能なチームとします。

ただし、予選への申込が 12 チームを下回った場合は、同一高等学校から複数チームが本選に出場できることもあり得ます。

- （3）予選には 1 校から何チームでも申し込みできます。

ただし、同一人物が複数チームに重複して申込することはできません。

- （4）本選出場チームは、大会当日に選手 3 人が大会会場に揃っていることを原則とします。

ただし、大会直前に選手の体調不良等により 3 人の選手が揃わない場合は、当該チームの意向を確認し、2 人以下での対戦を認めます。

なお、オンラインでの参加は認めません。

予選

1. 予選

- （1）投稿用紙にチームの選手 3 人の未発表自作短歌を 1 人 1 首ずつ記入して提出してください（題は自由です。）。

- （2）予選の審査は、審査員長が行います。

- （3）予選結果は 6 月中旬を目途に、各学校へ通知します（電子メール及び郵送）。

- （4）前年度の優勝校は、予選を免除し本選への出場を認めます。

応募締切日までに出場申込書に必要事項を記入し提出してください。

2. 申込方法

- (1) 出場申込書と投稿用紙を、牧水・短歌甲子園実行委員会事務局（以下、「事務局」という。）宛に郵便または電子メールでお送りください（様式は日向市のホームページからもダウンロードできます。）。

※電子メールで申し込まれた場合、事務局から受付確認メールを送ります。5日以内（土日祝日除く）に返信がない場合は早急に事務局にご確認ください（メールサーバーの不具合などによるトラブル防止のため）。

- (2) 応募締切りは令和7年5月21日(水)とします。※必着

本 選

1. 1次リーグ

- (1) 1次リーグは、主催者が指定した題による「題詠」とします。定められた3つの題のうち、主催者が指定した2つの題の作品を事前に提出してください。

なお、題は、予選結果を通知する際にお知らせします。

- (2) 投稿用紙に選手3人の未発表自作短歌を、2つの題について1人1首ずつ計6首を記入して提出してください。
- (3) 本選への進出決定以降、やむを得ない理由により選手に欠員が生じる場合は、選手の交代を認めます。

ただし、すでに提出した作品の変更はできません。

- (4) 提出締切りは、令和7年7月中旬の予定です（※予選結果通知時に詳細を通知）。
- (5) 競技は、12チームが3チームずつのブロックに分かれ、リーグ戦で行います。
- (6) 組み合わせ抽選は、事前に、主催者において行います。
- (7) 対戦する2チームがステージ上で各作品を発表、自作短歌に込めた想いをアピールしたり、相手チームの短歌について質問や意見を述べます。
- (8) 事前に全選手の作品をまとめた作品集を各学校に送付します（7月下旬）。
- (9) 各ブロックの順位は勝利数で決定し、1位のチームが決勝トーナメントに進むことができます。
- (10) ブロック内で1勝1敗で3チームが並んだ場合は、旗の総数で決勝トーナメントへの進出チームを決定します。

なお、旗の総数も同数で並んだ場合は、審査員長を含む審査員の協議により決定します。

2. 決勝トーナメント

- (1) 準決勝は、主催者が指定した題による「題詠」とします。1次リーグの題詠と同様、令和7年7月中旬（※予選結果通知時に詳細を通知）までに提出していただきます。

なお、題は、予選結果を通知する際にお知らせします。

- (2) 決勝は「自由詠」とします。1次リーグの題詠と同様、令和7年7月中旬（※予選結果通知時に詳細を通知）までに提出していただきます。

なお、決勝の「自由詠」は予選で提出したものでも可とします。

- (3) 準決勝敗退チームによる3位決定戦は行いません。両チームとも第3位とします。

3. 審 査

- (1) 審査は、主催者が依頼した審査員（別記）が行います。
- (2) 競技の審査は、作品の出来に加え、対戦でのやり取りにおける感性や自己表現力、アピール力なども加味されます。
- (3) 1試合につき3名の審査員が審査し、旗の数で勝敗を決定します。

個 人 戦

1. 個人戦

- (1) 参加できるのは、本選に出場する選手のみです。参加は任意です。
- (2) 参加を希望する選手は、予選結果通知の際に事務局が送付する投稿用紙に未発表自作短歌を1人1首記入して提出してください（題は自由です。）。
- (3) 作品は無記名で大会会場内に掲示し、大会関係者を含めた一般観覧者が自由に投票し、最多得票の作品を表彰します。

表 彰

1. 団体戦

- (1) 優勝・準優勝・3位のチームを表彰します。

2. 個人戦

- (1) 最多得票数の作品を「牧水賞」として

表彰します。

3. 作品賞

- (1) 提出されたすべての作品(団体戦及び個人戦)を対象とします。
- (2) 若山牧水記念文学館長でもある審査員長が選んだ作品を「若山牧水記念文学館長賞」として表彰します。
- (3) (2)のほか、各審査員、日向若山牧水顕彰会長、牧水・短歌甲子園実行委員会会長、牧水・短歌甲子園OB OG会みなどが選んだ作品をそれぞれ表彰します。

4. 特別賞

- (1) 試合で優れた朗読や発表を行い大会を盛り上げた選手1名を審査員が選び、パフォーマンス賞として表彰します。

出場費用等

1. 出場費用

- (1) 出場料は無料です。

2. 交通費

- (1) かかった経費(選手3名分、引率1名分)の9割に対し、地域ごとに定めた限度額を主催者が負担します(10円未満切り捨て)。
 - ①宮崎県内
1チームあたり8,000円を限度に負担します。
 - ②宮崎県外(離島を除く九州内)
1チームあたり3万円を限度に負担します。
 - ③その他の地域
1チームあたり10万円を限度に負担します。
- (2) 経費の確認は、領収証等の提出により行います。
- (3) 合同チームが本選に出場する場合は、各選手が所属する高校等の所在地をもとに按分します。

3. 宿泊

- (1) 9日(土)の宿泊は、事務局が確保し費用も負担します(宿泊先等は事務局に御一任ください。)
- (2) 前泊、後泊が必要な場合は、各チームで手配し、費用も各チームで負担してください。

4. 食費

- (1) 9日(土)の夕食(※夕食交流会)、10日(日)の朝食(※事務局が予約したホテルの朝食)は主催者が負担します。
- (2) 9日(土)の昼食、10日(日)の昼食は各自での負担となります。事前に事務局で弁当の必要個数を集約し予約しますので、代金は当日、大会会場でお支払いください。

5. その他

- (1) 地震や台風等の不可抗力により欠場となった場合、先述の規定の範囲内で交通費を負担します。
なお、前述の欠場理由以外による欠場には適用しません。

大会スケジュール

【8月9日(土)】

9:00	出場者集合
9:00～ 9:20	事前説明
9:20～ 9:30	入場行進
9:30～10:00	開会式・審査員紹介
10:00～17:30	1次リーグ
18:30～20:00	交流会

【8月10日(日)】

8:30	出場者集合
8:30～ 9:00	事前説明
9:00～ 9:10	1次リーグ講評
9:10～10:50	準決勝・決勝
10:50～12:05	講評・表彰・閉会式
12:05	大会終了

※若山牧水生誕140年記念

牧水・短歌甲子園特別企画

「牧水・短歌甲子園×アイドル歌会」

13:00～14:50 牧水・短歌甲子園OB OG
会みなど選抜とアイドル
歌会選抜エキシビ
ションマッチ、歌会
(※観覧は自由)

審査員

◇伊藤 一彦(審査員長)

1943年 宮崎県出身。若山牧水記念文学館館長。歌人。

歌集に『海号の歌』(読売文学賞)、『新月の蜜』(寺山修司短歌賞)、『微笑の空』(昶空賞)、『月の夜声』(斎藤茂吉短歌

文学賞)、『土と人と星』(現代短歌大賞・毎日芸術賞)、『遠音よし遠見よし』(詩歌文学館賞)など。
令和4年、旭日小綬章(芸術文化功労)受章。

◇俵 万智(審査員)

1962年 大阪府出身。歌人。
歌集に『サラダ記念日』(現代歌人協会賞)、『プーさんの鼻』(若山牧水賞)、『未来のサイズ』(詩歌文学館賞・迢空賞)、『アボカドの種』など。
2021年度朝日賞受賞。読売歌壇選者。

◇大口 玲子(審査員)

1969年 東京都出身。歌人。
歌集に『海量(ハイリヤン)』(現代歌人協会賞)、『東北』(前川佐美雄賞)、『ひたかみ』(葛原妙子賞)、『トリサンナイト』(芸術選奨新人賞・若山牧水賞)、『桜の木にのぼる人』(宮日出版文化賞)、『ザベリオ』(小野市詩歌文学賞)、『自由』(日本歌人クラブ賞)など。
宮日芸文選者。NHK 宮崎放送局「わけもん短歌」選者。

◇笹 公人(審査員)

1975年 東京都出身。歌人。
歌集に『念力家族』(NHK Eテレ連続ドラマ化)、『念力図鑑』、『抒情の奇妙な冒険』、『終楽章』など。
歌誌「未来」選者。2022年度「NHK 短歌」選者。

注 意 事 項

1. 動画配信

- (1) 大会の様子は2日間ともYouTubeでライブ配信します。
- (2) 過去の大会の様子もYouTube「牧水・短歌甲子園」公式チャンネルにて公開しています。

2. 著作権等

- (1) 本大会で発表された作品(本選の団体戦で発表した作品及び個人戦の作品。団体戦で敗戦により発表されなかった作品は除く。)の著作権は主催者に帰属します。
ただし、作品等を作者本人または学校等が、本大会の作品である旨を明記の上で転載する場合はこの限りではありません。

報道機関が番組・ニュースや新聞等に使用を希望される場合には、事前に主催者の承諾を必要とします。

- (2) 大会における映像、写真等の肖像権については、参加申込をもって、その使用を承諾したものとみなします。

3. 大会の中止等

- (1) 天災・事件・事故・疫病等が発生した場合、やむを得ず大会を中止または縮小する場合があります。

なお、原則として、大会を延期することはありません。

- (2) 大会を中止した場合、参加に要するための費用(航空券のキャンセル料等)は、中止等の決定をした時点までに生じた費用等を勘案し主催者による負担割合を決定します。
- (3) オンラインでの参加には対応いたしかねます。

4. その他

- (1) 参加者から提供された個人情報は、大会出場に係る連絡・通知のみに使用します。主催者が取得した個人情報は先述の利用目的以外には使用しません。
- (2) 大会の開催目的を御理解いただき、作品や対戦校・個人に対する誹謗中傷は決して行わないようお願いします。
- (3) 既発表作品を本大会へ提出することや本大会へ提出した作品及び類似作品を他大会や新聞・雑誌・SNS等へ投稿することは固くお断りします。
- (4) (3)のほか、予選及び本選(団体戦及び個人戦)で提出された作品が既出の短歌等に酷似している場合、本選出場や入賞等を取り消す場合があります。
- (5) 10日(日)大会終了後、若山牧水生誕140年記念事業として13時から「牧水・短歌甲子園×アイドル歌会」を行います。観覧は自由です。

応募先・問合せ先

〒883-8555
宮崎県日向市本町10番5号
日向市教育委員会
文化・生涯学習課内
牧水・短歌甲子園実行委員会事務局
TEL:0982-66-1038
FAX:0982-54-2189
E-mail:bokutan@hyugacity.jp